

ツクシドウダン

Enkianthus campanulatus var. longilobus

ツツジ科

カテゴリー

大分県 II

環境庁 掲載なし



種
子
植
物

低山地や山地の林内に生える落葉低木。花の柄はベニドウダンの2～4mmに対して5～10mmと長く、花も前者の3～8mmに対して10～15mm。ベニドウダンの花弁は先が不規則に細かく裂けるのに対してツクシドウダンは5裂する。分布域は九州に限られ、本県では「九重火山群」や「祖母・傾山地」の山頂帯や尾根の岩場に分布し、その範囲は狭い。低木のため植生遷移の進行による環境変化、人による踏みつけや採取で、生育地の減少が懸念される。

(写真：竹尾良造 文：生野喜和人)

県内分布 九重火山群，祖母・傾山地

分布域 九州（熊本・大分・宮崎）

国立・国定公園指定植物 [阿蘇くじゅう，耶馬日田英彦山，祖母傾]